吉田南中だより

令和５年３月２３日
鹿児島市立吉田南中学校

４月の主な行事

４月					
日	曜	行　事　内　容	日	曜	行　事　内　容
６	木	入学式・１年役員ＰＴＡ	18	火	全国学力学習状況調査
10	月	２／３年生役員ＰＴＡ決め	21	金	ＰＴＡ総会　学年学級ＰＴＡ
12	水	三者相談（～20日）	25	火	１年集金日
14	金	補助教材販売	26	水	２年集金日
17	月	生徒総会	27	木	生徒朝会　３年集金日

第７６回卒業式及び同窓会入会式

３月１４日（火）に，第７６回卒業式を挙行しました。
卒業生は義務教育最後の授業である卒業式を終え，これまでの中学校生活に達成感や満足感を感じるとともにこれからの生活に夢や意欲をもって巣立ってくれると思います。
卒業生が，義務教育を有終の美で終えることができたのは，保護者の皆様はもちろんのこと地域の皆様の温かい愛情とお力添えのおかげと心から感謝しております。

＜同窓会長の言葉（一部抜粋）＞
３年生の皆さんもいよいよ卒業を迎えられることになりましたね。心からお祝い申し上げます。
皆さんの中学校生活は，何度も言われてきたと思いますが，新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた３年間だったかと思います。部活動や学校行事はもちろん，学校を離れたところでの活動にも制約があり，何かともどかしい思いをされたのではないでしょうか。
そんな災難でしかないコロナですが，その感染の拡大を契機に世の中のいろいろな仕組みが見直され，改善されたり技術が進んだりという側面もありました。そういうプラスの面にも目を向けながら，明るい兆しが見えてきた昨今ではありますが，警戒を怠らず，新しい生活を元気に満喫してください。
さて皆さんは，この中学校を卒業されますと吉田南中学校の同窓生ということになります。今日は，その同窓会の入会式であります。心から歓迎いたします。
同窓会といいましても，皆さんに何か大きなものを背負っていただこうというつもりはありません。お願いしたいことは二つです。
一つ目は，これからもこの吉田南中学校のこと，そして後輩たちのことを気にかけ，応援してほしいということです。これまでもたくさんの先輩方が同じように皆さんのことを応援してこられました。「吉田南中学校」という名前を聞いただけで注目し，エールを送ってこられたと思います。ぜひ皆さんも，後輩たち，今の１年生，２年生だけではなくて，ずっとその先の後輩たちのことも含めて応援していってもらいたいと思います。
そして，もう一点は，皆さんの中には，中学校を卒業して，例えば寄宿舎にお入りになったり，あるいはご家族で転居されたりなどして，この地域を離れる方もおられるかもしれません。さらにその先，例えば高校を卒業してしまうと，もっと多くの方がこの地域を離れることになると思います。
もう一つお願いしたいのは，そういう日が来ても，このふるさとの自然や風景，そして人のあたたかさ，さらには中学校生活を一緒に送ったたくさんの仲間たちのことを折に触れて思い起こしてほしいということです。お互いの絆と，このふるさとの風景を，これから生き抜くための支えとして大切に心にとどめておけば，これから先，何か大事をなそうとするときや壁に突き当たったときも，きっとそれが皆さんを守り，後押ししてくれると信じています。
これからも，この地域のことを大切に思い，母校や後輩たちへの応援をどうぞよろしくお願いいたします。またそうしたいと思えるような地域，同窓会にみんなでしていきましょう。結びに，皆さんの今後ますますの御活躍を祈念して，歓迎の言葉といたします。

同窓会長　南　芳浩　氏

第７６回卒業式及び同窓会入会式

桜の花が咲き始め，春を感じる今日この頃，私たち第七十六回卒業生六十三名は，伝統ある吉田南中学校同窓会に入会させていただきます。

私たちは，今日まで諸先輩が築き育ててくださった吉田南中学校での生活を終えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本日から先輩方の仲間入りができることを誇りに思うと同時に，卒業生としての自覚を持ちたいと思います。

私たちは，吉田南中学校の同窓会の入会にあたり，次の二つのことを誓います。

一つは，お互いの交友をあたため，励まし合い，連帯感を深めながら，心豊かな人間になること。

二つ目は自分の言葉に責任をもち，吉田南中学校の同窓会の一員として，胸を張って努力し，それぞれの人生を堂々と生き抜くこと。

卒業式をもって，お互い様々な進路に分かれて進んでいきます。これからの前途は多難に満ちたもので，道に迷うことがあると思います。そのときは，ぜひ私たちを温かく見守り，御指導くださいますようお願い申し上げます。

母校である吉田南中学校の発展に少しでも貢献できるように努力していきたいと思います。

第七十六回卒業生代表　樋口　陽太

刻みのある日々を送っているか？　現状維持になっていないか？

一年間の生徒一人一人の成長には本当に驚きます。

保護者の皆様におかれましては，学校とともに同じ方向で教育を進めていただき，ありがとうございました。

私は，毎朝，新聞記事を読みながら，プロスポーツ選手などが述べられたコメントを記録するようにしています。いくつか紹介します。

「勝てなくても，負けすぎなければ結果につながる」
（令和５年２月21日　県下一周駅伝日置代表外山雅之さん）

「小さいことを続けない限り，遠くには行けないのです」
（令和５年２月５日　元大リーガーイチローさん）

「勝っても負けても，同じ気持ちを保つ。精神的なものが一番大事。土俵に上がっても昼間，自信をもてる状態に持っていけるような日々の生活が大事」
（令和５年１月24日　貴景勝さん）

「人生は毎日が新たな挑戦と喜び。よい目的で前進し続ければ自分の道が開ける」
（令和５年１月13日　プロテニスプレーヤー大坂なおみさん）

「小さい時から，結構前だけを見ていた。あの時，ああすればよかったと思うことが少ないというかほとんどなかった。何か違うこと，自分の知らないことに挑戦する方が楽しかった。自分で決めることによって，逃げ道もないが，後悔もないと思った」
（令和５年１月６日　福留孝介さん）
【参考：南日本新聞】

日々，勝敗という結果を出さなければならない選手を支えてくれるものは，気持ちであったり，言葉であったりします。苦労の末につかんだ言葉もあるでしょうし，言葉が行動を支え続けてくれることもあります。

生徒のみなさんには，苦しい時であっても自分を支える言葉や気持ちをみつけながら，刻みのある日々を送り，少しずつ成長してほしいと思います。

一年間，ありがとうございました。

校長　塚元　宏雄